

## 1. 募集人員

10名程度

## 2. 申請資格

申請できる者は、次の(1)かつ(2)を満たす者、または(3)に該当する者としてします。

- (1) 医学薬学府先端医学薬学専攻（4年博士課程）に平成31年4月または10月に入学する者
- (2) 指導教授の承諾を受けている者
- (3) 個別の申請資格審査により、申請資格を有すると認められた者

## 3. 申請手続

- (1) 申請書受付期間

平成31年3月14日（木）から15日（金）まで

両日とも、9時00分から11時30分、13時00分から16時00分までです。

医学薬学府の入学手続時に「免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム」申請書の受付を行いますので、郵送での申請手続はできません。

また、受付期間内に申請を行わない場合は、申請書は受理できません。

申請に際しては、あらかじめ志望する研究領域・研究室の指導教授に照会のうえ、必ず承諾書も併せて申請してください。

- (2) 申請書提出先

- ① 医学領域入学予定者 千葉大学 医学部本館1階 第一講義室（医学部大学院学務係）
- ② 薬学領域入学予定者 千葉大学 医薬系総合研究棟Ⅱ地下1階 大会議室（薬学部学務係）

## 4. 申請書類

下記の書類を揃えて提出してください。

提出書類	摘要
(様式1) 「免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム」選抜試験申請書・写真票、受験票	必要事項を漏れなく記入し、写真2枚を貼り提出してください。
(様式2) 承諾書	志望する研究領域・研究室の指導教授の署名・押印を受けたうえで、提出してください。
写真（2枚）	申請前3ヵ月以内に撮影（上半身、正面、脱帽）のもの。縦4cm×横3cmを申請書に貼付してください。
TOEICまたはTOFLEスコアカードの写し	スコアカードを提出できない場合は、医学部大学院学務係へ事前に問い合わせてください。

## 5. 選抜方法等

選抜試験は、学力検査及び面接を総合して判定します。

(表)

(1) 選抜試験科目

- ① 英語：生命科学に関する英語
- ② グループディスカッション：与えられたテーマでの英語によるグループディスカッション
- ③ 面接：英語による約1分間の自己アピール（自己紹介、研究紹介）及び英語による質疑応答

自己アピール用バイオスケッチ1枚（A4 PDF形式）を3月15日（金）までに医学部大学院学務係（sah5234@office.chiba-u.jp）へメール添付で提出してください。

(2) 選抜試験日時・会場

月 日	時 間	科 目	会 場
平成31年 3月18日（月）	11：00～12：00	英 語	千葉大学医学部
	13：30～	グループディスカッション・面接 <small>（順番は受験番号により当日案内されます）</small>	

6. 注意事項

- (1) 面接については、試験日当日に発表します。昼食を用意して来校してください。
- (2) 申請書類に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- (3) 自家用車での来校は避けてください。
- (4) 電話等による可否の問合せには一切応じません。
- (5) 選抜試験の過程で収集した個人情報、選抜試験の実施のほか、管理運営業務、就学指導業務、プログラム選抜方法等における調査・研究に関する業務を行うために利用します。

7. 合格者発表

平成31年4月1日（月） 10時

医学部掲示板及び薬学部掲示板に発表（掲示期間4月8日（月）まで）するとともに、合格者には合格通知書をガイダンス時に交付します。また、合格は指導教授にも通知されます。

8. 入学後のプログラム履修について

本プログラムに選抜された者は、通常の医学薬学府4年博士課程のカリキュラムに加え、本プログラム独自のカリキュラムを履修します。具体的には、「治療学」に関連する「領域横断科目」9単位、「治療学特論」4単位、「治療学演習」2単位、「治療学実習」1単位の16単位以上を取得することが求められます。また、履修期間には海外の研究機関での研修等も含まれます。

学位審査発表は全て英語で行われます。本プログラム修了者には、博士（医学）又は博士（薬学）が授与されるとともに、「免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム」を修了したことが学位記に付記されます。

9. 「免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム」ガイダンス

「免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム」を受けることとなる学生へのガイダンスを、入学式の当日、16時00分から医学部2階大カンファレンスルームで行う予定です。開始10分前には集合するようにしてください。